



2026年5月29日

一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
MoN Takanawa: The Museum of Narratives

MoN Takanawa: The Museum of Narratives 開館記念プログラム

バレエ「アレコ」

5月29日 初日開演 速報



写真：大洞博靖 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 E6218

公演：2026年5月29日（金） - 6月7日（日）

会場：Box1000

2026年3月28日に TAKANAWA GATEWAY CITY に開館した文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」（東京都港区／運営：一般財団法人 JR 東日本文化創造財団、以下 MoN Takanawa）は、2026年5月29日（金）から6月7日（日）まで、開館記念プログラムとしてバレエ「アレコ」を上演いたします。

本日5月29日（金）、初日を迎えました。本作の上演にあたり、振付・演出の宝満直也、出演者のコメント、舞台写真・ゲネプロ取材会の写真をお届けいたしますので、ぜひご紹介いただけますよう、お願いいたします。

本作では、シャガール《アレコ》の背景画が最先端技術により高精細 LED で再現され、通常の絵画鑑賞とは異なる、没入型の舞台体験を創出します。MoN Takanawa の上演では、4 幕構成の舞台背景画として制作されたシャガール《アレコ》を幕ごとに再現し、物語と舞台の連動を実現しました。

演出は 2024 年に青森県立美術館版バレエ「アレコ」を手がけた宝満直也。今回のための新演出でお届けします。国内外ダンサーによる競演も本作の見どころの一つです。ウクライナ出身の国際的ダンサー、アレクサンドル・トルーシュと、注目の若手ダンサー大川航矢が W キャストで主演のアレコ役を務め、登場人物の心情を掘り下げた宝満直也の演出を豊かな表現力で演じます。相手役のゼンフィラは NBA バレエ団のプリンシパル、勅使河原綾乃と山田佳歩が演じ、作品を彩ります。

冒頭で上映する青森県立美術館版のメイキング映像他、多くの方々の熱意やご協力により実現した本作を、この機会にぜひご堪能ください。



左より：内田まほろ (MoN Takanawa アーティスティック・ディレクター)、勅使河原綾乃 (A キャスト ゼンフィラ役 NBA バレエ団)、大川航矢 (A キャスト アレコ役 牧阿佐美バレエ団)、アレクサンドル・トルーシュ (B キャスト アレコ役 ゲストダンサー)、山田佳歩 (B キャスト ゼンフィラ役 NBA バレエ団)、宝満直也 (振付・演出)
写真：大洞博靖 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 E6218

■バレエ「アレコ」演出家と出演者の初演コメント



宝満直也（振付・演出）

このバレエ「アレコ」の初演は青森県立美術館で、実際の絵を前に初演されました。その時の舞台空間の熱量をはっきりと覚えています。今回は実際にそこに絵はないはずなのに、前回は越える熱量を感じました。アートは精神そのものは、人の意思と想像力や豊かさによって引き継いでいけるのではないかと感じました。



大川航矢（Aキャスト アレコ役 牧阿佐美バレエ団）

青森でもアレコ役を踊りましたが、宝満さんの振付と演出は、バレエとはこんなに自由に表現していいものなんだと、気づかせていただいた、自分にとってもバレエの魅力が改めて知った作品です。

新しい劇場に新たな命を息を吹き込むように、この劇場にとって初めてのバレエ公演ということで、ダンサー人生でも特別な機会と感じ、責任と喜びを感じています。



アレクサンドル・トルーシュ（Bキャスト アレコ役 ゲストダンサー）

私は長年にわたり日本で踊ってきましたが、日本の文化と人々に対して深い敬意と敬愛の念を抱いています。日本にはとても親しい大切な友人たちの輪もできました。その友人たちが、今回の「アレコ」公演への参加を勧めてくれたのです。私はこのアイデアと振付をすぐに気に入り、NBAバレエ団のダンサーや宝満直也さんと共に創作し、学び、自分自身の経験も共有できることをとても楽しみにしていました。ダンスは私にとって生涯を通じた情熱であり愛そのものです。そして、この素晴らしい芸術形式に門戸を開いた東京の新しい会場でパフォーマンスできることを、大変嬉しく感じています。



勅使河原綾乃（Aキャスト ゼンフィラ役 NBAバレエ団）

2024年の青森県立美術館の公演のときに実物の絵からいただいたパワーを鮮明に覚えています。今回は、各背景画の前で踊ることで、何かが湧き出てくるようで、この劇場だからできる踊りを強く感じました。ゼンフィラ役として、自由さ、情熱や心情の変化を丁寧に繊細に表現していきたいと思います。



山田佳歩 (Bキャスト ゼンフィラ役 NBAバレエ団)

2年前の青森での公演に出演しましたが、やはり各場面にあった背景画の前で踊ることで、ダンサーの踊りが生き生きとし、躍動感、情景が鮮明に感じられました。特に印象的だったのは、第3幕の太陽がパーッと光ったシーン。まるでシャガールの絵が生きているようで、そこに大川さんの踊りの迫力と音楽とが加わって、すべてが一体になったパワーを感じました。



内田まほろ (MoN Takanawa アーティスティック・ディレクター)

MoN Takanawa は新しい技術で伝統を未来に繋いでいくというテーマを掲げています。その開館プログラムとして、青森県立美術館と協力し「アレコ」の再演をお迎えすることができ、本当に嬉しく思います。2024年の公演を拝見して、日本と西洋をつなぎ、80年前の情熱的な舞台を現代のダンサーが再現することに、時空が歪むような感動を覚えました。今回、再演するにあたり、各幕で背景画が変わることで、物語とダンス、音楽が一体になった風景が見たいと願い、企画しました。そして今日公演を観て、80年前の当時のクリエイターたちが描きたかったことが少しだけ理解できたように感じています。



写真：大洞博靖 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2026 E6218

■公演情報

公演期間：2026年5月29日（金）～6月7日（日）

会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000
（TAKANAWA GATEWAY CITY 内）

振付・演出：宝満直也

主な出演：

【Aキャスト】アレコ：大川航矢／ゼンフィラ：勅使河原綾乃

【Bキャスト】アレコ：アレクサンドル・トルーシュ／ゼンフィラ：山田佳歩

協力：NBA バレエ団／青森県立美術館／キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

主催：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

チケット料金（税込）

S席 9,500円／A席 7,500円／B席 5,500円／プレミアム席（13:00／17:00の回のみ）：22,000円／U29 S席（19:30の回のみ）：7,500円

○高級磁器ブランド BERNARDAUD によるマルク・シャガール・コレクション磁器のインスタレーション展示をご覧ください。（MoN Takanawa 施設内）

○プレミアム席（13:00／17:00の回のみ）

ご観劇当日の朝、バレエクラスをご見学いただけます。また昼公演と夜公演の合間にダンサー・演出家と素敵なティータイムをお過ごしいただけます。

○U29 S席（19:30の回のみ）

A席価格でS席を購入いただけます。また当日はノンアルコールシードルをお楽しみいただけます。

※料金は全て税込価格です。

※2歳未満のお子さまはご入場いただけません。

※膝上鑑賞可能（無料）です。2歳以上のお子さまでお席をご利用になる場合はチケットが必要です。

公式サイト：

<https://montakanawa.jp/programs/aleko/>

■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

MoN Takanawa: The Museum of Narratives について

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問（問い）」の2つの意味が込められています。



公式ウェブサイト：<https://montakanawa.jp/>

公式インスタグラム：<https://www.instagram.com/montakanawa/> (@montakanawa)

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよび SNS を通じて順次発信いたします。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
敷地面積	7,977.31 m ²
延床面積	28,952.55 m ²
高さ	44.98 m
階数	地上 6 階・地下 3 階
主用途	展示場、ホール、飲食施設 等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第 1 期）設計共同企業体 外装デザインアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

■一般財団法人 JR 東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として 2022 年 4 月 1 日に設立されました。

「100 年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人 JR 東日本文化創造財団の登録商標です。